



労働安全

当社グループでは、社員の安全と健康に配慮し、労働災害の防止や心身の健康の維持増進に努めています。会社・労働組合から選出の委員、産業医で構成される「安全衛生委員会」を設置し、職場環境の改善・整備や労働災害の防止活動、通勤災害撲滅活動を行っています。

安全衛生に対する基本的な考え方

3.4 3.6 3.a 5.c 8.8 16.1

安全衛生管理体制

竹田 i Pホールディングスおよび竹田印刷では、労使の代表者による「安全衛生委員会」を毎月開催し、安全衛生活動などの報告・審議を行っています。決議事項は社内イントラなどを活用して社員に周知しています。

日栄印刷紙工では安全会議を月に1回実施しており、外部の環境衛生コンサルタントに5Sパトロールを依頼して、指摘事項を含めた報告を受けています。また、同コンサルタントの指導のもと、建物の1F・3Fの作業エリアを中心に歩行昆虫・飛翔昆虫のトラップ配置図を作成しており、前月の結果報告をもとに、対策、処置を行っています。

また、竹田東京プロセスサービス名古屋本社は、愛知労働局における「安全経営あいち」賛同事業所に登録されました。引き続き、リスクアセスメントを軸とした安全な職場環境の造成へ力を入れてまいります。

労使協調による課題の解決

竹田印刷と竹田印刷労働組合は、相互の理解と信頼に基づき健全で良好な労使関係を構築しています。互いの立場を尊重しながら、安全衛生委員会などを定期的に開催し、経営諸課題や労働条件に関する率直な意見交換を行っています。

安全衛生への取り組み

4.4 8.8

作業環境の管理

騒音、有機溶剤などの作業環境を定期的に測定し、職場の環境基準を管理しています。特に騒音が発生する職場では、耳栓など保護具の着用を徹底しています。

機械・設備の安全対策

機械による災害は、機械の構造や動作と、それを操作する作業者の行動や作業環境などが関連して発生します。危険領域には安全装置を設置し、定期的な検査およびメンテナンスを行うことでリスク低減対策を実施しています。

消防点検の実施

専門業者による消防設備の点検を年2回実施し、点検結果を定期的に消防署へ報告するとともに、不具合を改善することで緊急事態発生への対応を図っています。

断裁機取扱者の合同特別教育を実施

竹田印刷および日栄印刷紙工の社員計4名を対象に、断裁機取扱者の特別教育講習を2日間にわたり開催しました。メーカーを講師に招き、構内の実機を用いて関係法令や刃物の基礎知識、高精度な断裁順序などを学科と実技で網羅的に学びました。受講者は、専門知識と安全操作の重要性を再認識する貴重な機会となりました。



化学薬品教育の実施

プロセス・ラボ・ミクロンでは、半導体関連マスク製品の作製時に使用される化学薬品について、各部署にて上長による教育が行われ、知識を平準化するとともに作業時の安全性を高めています。

交通安全への取り組み

3.6

竹田印刷では、通勤・出張・外出時の交通災害発生防止の徹底を図ることを目的に安全衛生委員会において情報を共有し、現場の意見を反映させながら交通安全活動に取り組んでいます。またアルコールチェックの義務化に伴い、アルコール検知器を使用して運転前後の運転者の酒気帯びの有無を確認し、結果を日誌に記録・保管しています。

事故防止対策

光文堂では、外部サービスを活用し、各営業車に通信機能付きドライブレコーダーを取り付けて走行データ分析を実施し、事故防止活動を実施しています。毎週、前週の運転状況に関する個々の診断結果が送付され、社内の得点ランキングが共有される仕組みとなっています。また診断結果にて、全国平均点との差や危険挙動の内容・回数等が分かるため、社員の運転傾向を分析することができます。